

10月15日 菊池秋まつり 5年ぶりに菊池秋まつりを開催

菊池秋まつりが市ふるさと創生市民広場で開かれました。40点以上の店舗が並ぶマルシェやステージイベントを実施。市内団体による演奏やダンスパフォーマンスなどが披露されると、会場は大きな盛り上がりを見せました。



舞台上で氣勢を上げる甲冑姿の武士たち。同日には、菊池神社の秋季大祭の神幸行列もありました

10月14日 県トラック協会菊池支部 環境クリーンキャンペーン

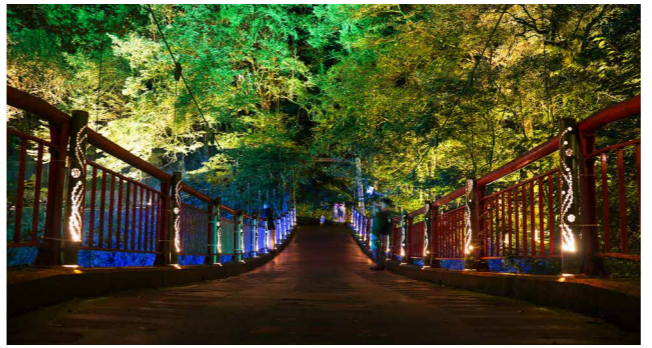
10月9日の「トラックの日」にちなみ、県トラック協会菊池支部が、国道325号沿いのJA菊池周辺で清掃ボランティアを実施しました。同協会の会員の皆さんが、道路への感謝の気持ちを込めて毎年行っています。



当日は市内の学童・少年軟式野球チームも参加。約240人でたくさんのごみを拾い集めました

9月22日～10月1日 菊池渓谷 渓谷を幻想的にライトアップ

菊池渓谷でライトアップイベントがありました。市と観光協会などで行う「菊池渓谷を美しくする保護管理協議会」が魅力発見を目的に、昨年からの開催。ライトが木々や水面を照らすと、来場者から歓声が上がっていました。



市内外から3,200人を超える人が訪れ、幻想的な雰囲気を楽しみ出す菊池渓谷に見入っていました

9月19日 隈府小学校 地域に伝わる盆踊りを児童が学ぶ

隈府小3年生が、かつて地元で踊られていた「竜踊り」を体育館で学びました。8月に行われた「きくち盆踊り」に登場した曲で、盆踊りの実行委員会メンバーと日本舞踊家・坂本孝子さん(栄町)が児童に踊りを指導しました。



手や足の動きを繰り返し練習した児童たちは「来年は盆踊りに出たいです」と笑顔で話しました

10月25日 菊池たばこ販売協同組合 喫煙マナーの向上を目指して

菊池たばこ販売協同組合の組合員が、七城支所や七城メロンドーム周辺でゴミ拾いを行いました。同組合が、清掃ボランティアの活動を通して地域に貢献したいと毎年行っている、菊池・旭志・泗水地域でも実施しています。



参加した組合員の皆さん。沿道に落ちているたばこの吸殻や空き缶などを拾いながら額に汗を流しました

10月22日 SLOW DAY KIKUCHI vol.4 のんびり過ごすスローな一日

市ふるさと創生市民広場で「SLOW DAY KIKUCHI」が開催されました。市民有志団体「きくち未来編集部」と市立図書館が主催し、今年で4回目。出張図書館や飲食販売、音楽ライブ、読み聞かせなどがあり、約2,000人が来場しました。



テントを広げてくつろぐ人やコーヒー片手に読書する人、ワークショップを楽しむ人など、皆さん思い思いの時間を過ごしていました

10月4日 秋の「城山の日」の事前作業 清掃活動で菊池をより美しく

菊池公園で行われる「城山の日」を前に、菊池市建設業協会、菊池市造園業組合、NPO法人菊池公園歴史の森、菊池観光協会の皆さんがボランティアで周辺の整備を実施。国道387号沿いのカズラ取りや枯れ枝落しを行いました。



作業を終えた皆さん。事前作業では毎年、市のさまざまな場所の整備を行っています

9月28日 菊池国際交流協会 外国人のための自転車講習会

外国人を対象にした自転車の安全教室を菊池自動車学校で実施しました。市内企業で働くベトナム・タイ・フィリピン出身の27人が参加。菊池国際交流協会が外国人の生活支援の一環として、同自動車学校の協力で初めて開催しました。



ベトナム人のフィ・ティ・マイ・アインさんは「交通ルールを守って事故に遭わないようにしたい」と話しました

11月22日 第19回夫婦の絵手紙コンクール 入賞作品 いい夫婦の日に感謝の絵手紙

本コンクールは、地名の「隈府」と英単語の「wife(ワイフ=妻)」が同じ読みであることにかけ、「おしどり夫婦の里」[妻を大切にすまち]のPRとして、平成17年にスタートしました。今回は全国から気持ちのこもった135作品が寄せられ、優秀

作品に14作品が選出。11月22日の表彰式には、6組11人が出席しました。応募作品は次の日程で展示中です。気持ちのこもった作品をぜひご覧ください。①～12月20日(水) 中央公民館 ②12月22日(金)～令和6年1月10日(水) 菊池観光交流館



最優秀賞
岩本しんじさん(福岡県)



優秀賞
中村直子さん(菊陽町)



優秀賞
竹之内克己さん(兵庫県)



あなたの街の郵便局長賞
坂田和嘉子さん(山都町)

10月8日 劇団「ゼーロンの会」 能場でシェイクスピアを上演

菊池松礪子能場で劇団「ゼーロンの会」(熊本市)が、シェイクスピアの「ハムレット」を上演。演出を手がける上村清彦さん(七城町出身)が菊池高校の卒業生で、御所通りを芸術の力で息づかせたいという思いで、今年も実現しました。



能場での本格的な演劇の上演は、昨年に引き続き2回目。演者たちは鬼気迫る演技で100人を超える観客を魅了しました

10月5日 市の文化振興のために 大塚耕二の貴重な絵画を寄贈

安永秀輔さん(合志市)が、大塚耕二の作品を市に寄贈しました。大塚耕二は大正3年に隈府に生まれ、戦争により31歳で亡くなるまで才能が注目されていた画家。生きていれば日本の画壇を代表する大家になっていたかもしれません。



所蔵していた絵画9点と習作6点を寄贈した安永さん(左)は、「市の文化振興のために役立てほしい」と述べました